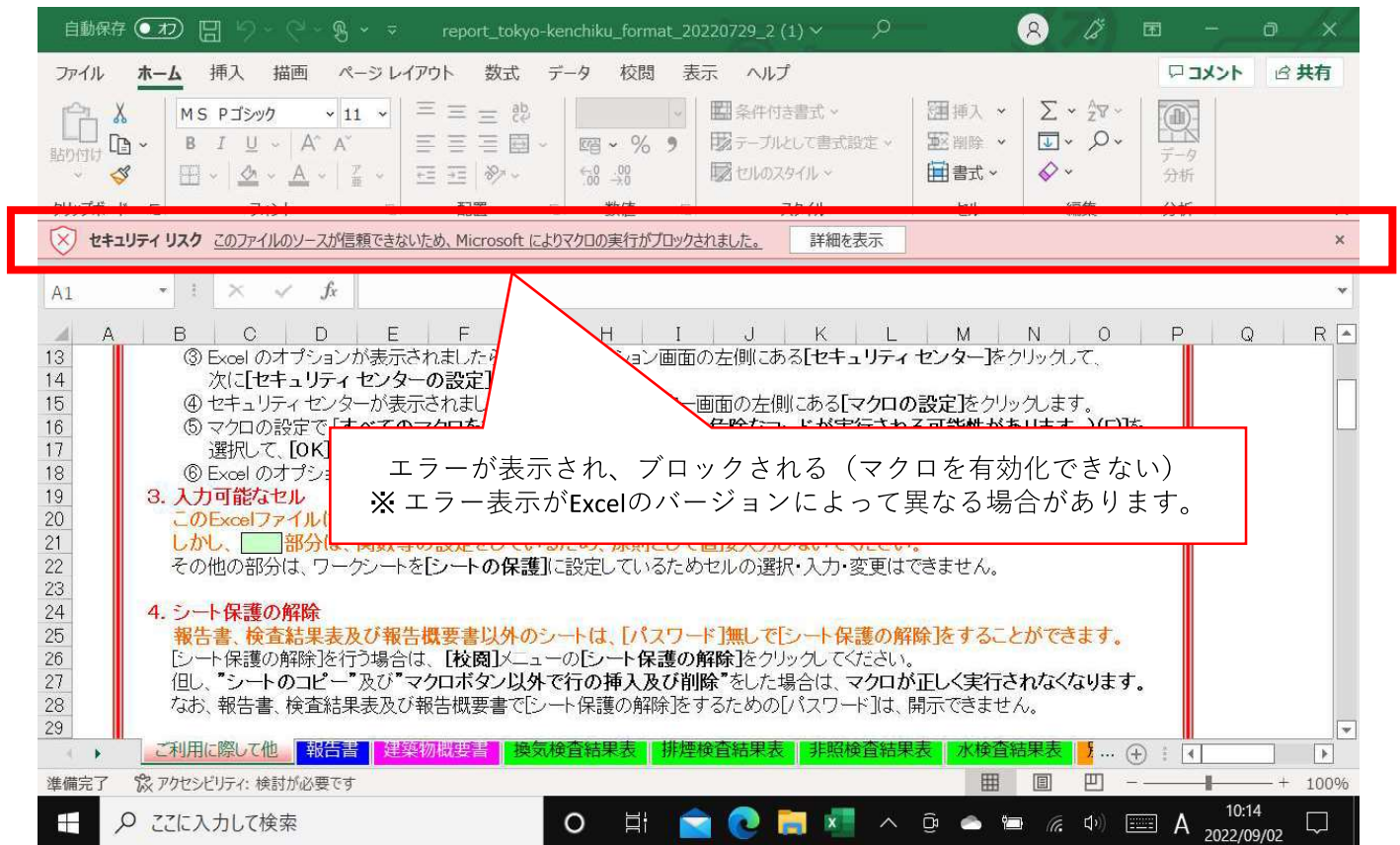


# 定期調査・検査報告書様式(Excel)を開いた際にエラーが表示されマクロがブロックされる件について (Office365ご利用の方)

## ～操作手順～

現在、Office365をご利用の方で、当財団ホームページより、定期調査・検査報告書様式 (マクロ付きExcelファイル) をダウンロード後、ファイルを開いた際にエラーが表示され、ブロックされる (マクロを有効化できない) 事象が発生しています。



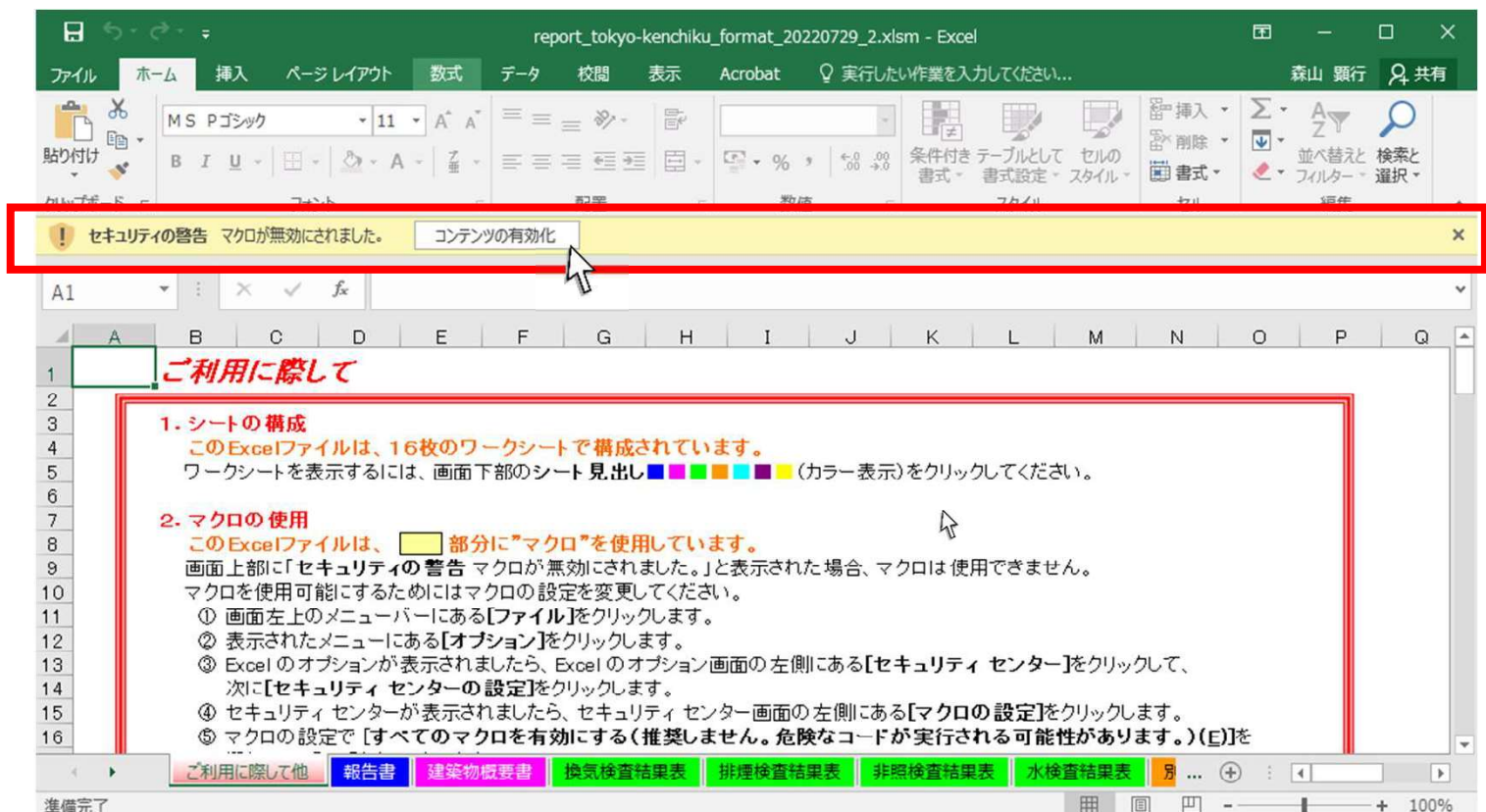
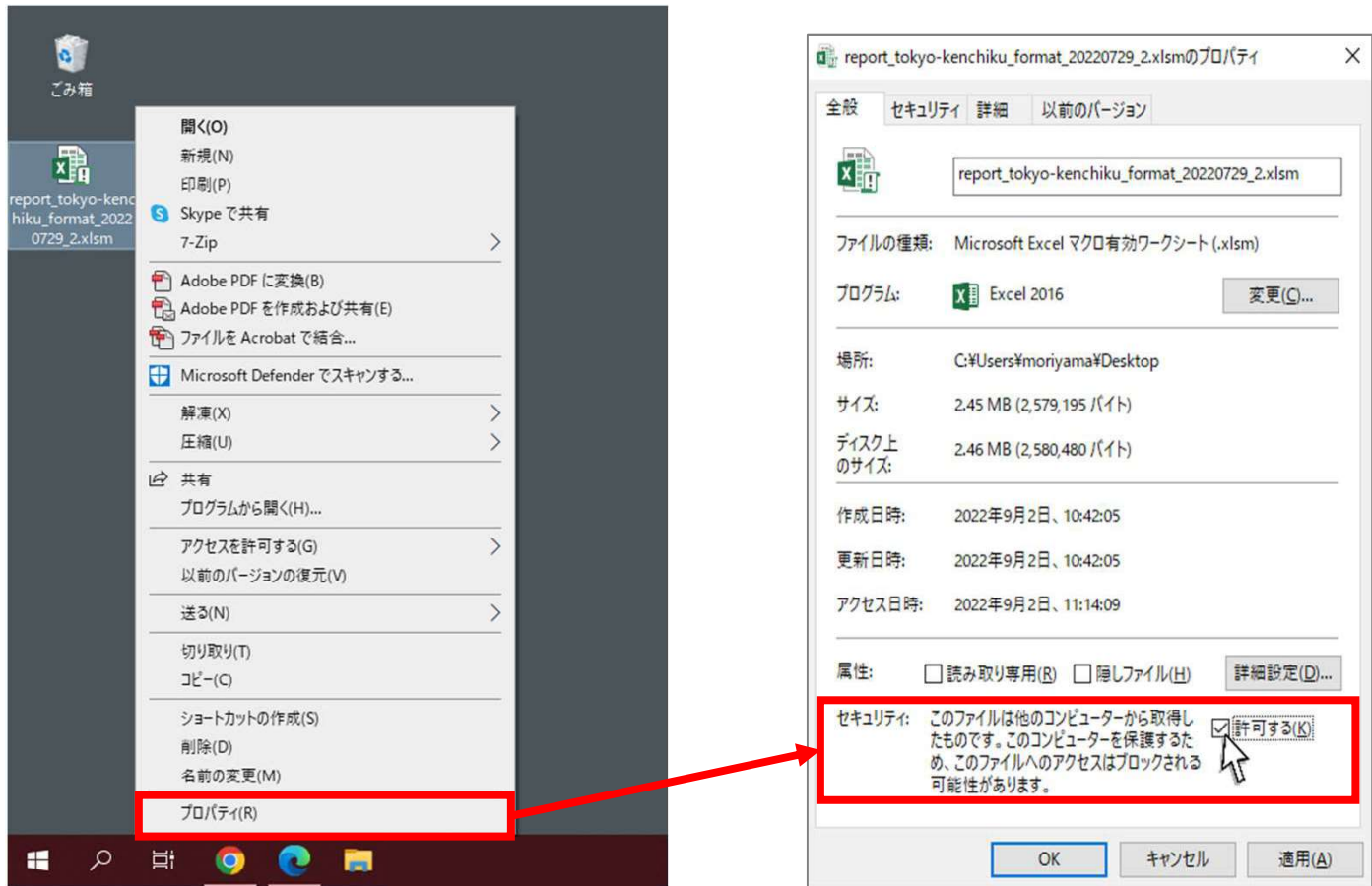
現在、判明している対応策は以下のとおりです。

- ① インターネットから入手したというマークを削除する。
- ② 信頼できる場所として、特定のフォルダを指定し登録する。

各操作手順について解説いたします。

# ① インターネットから入手したというマークを削除する方法

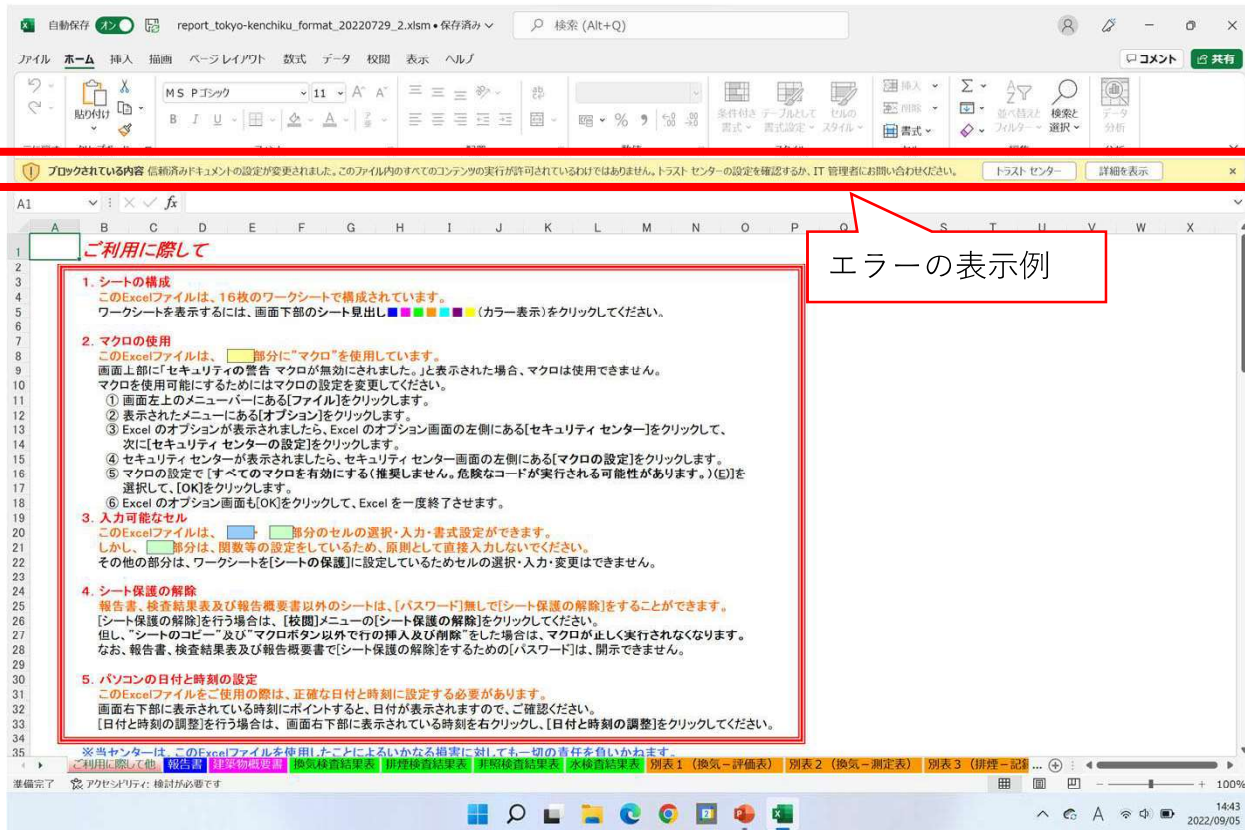
- ① Excelファイルにカーソルを合わせて、右クリックします。その中からプロパティを選択します。
- ② 「全般」のセキュリティで「許可する」にチェックを入れてください。
- ③ 「OK」を選択し、Excelファイルを開くと「コンテンツの有効化」ボタンが表示されるので、有効にして使用してください。



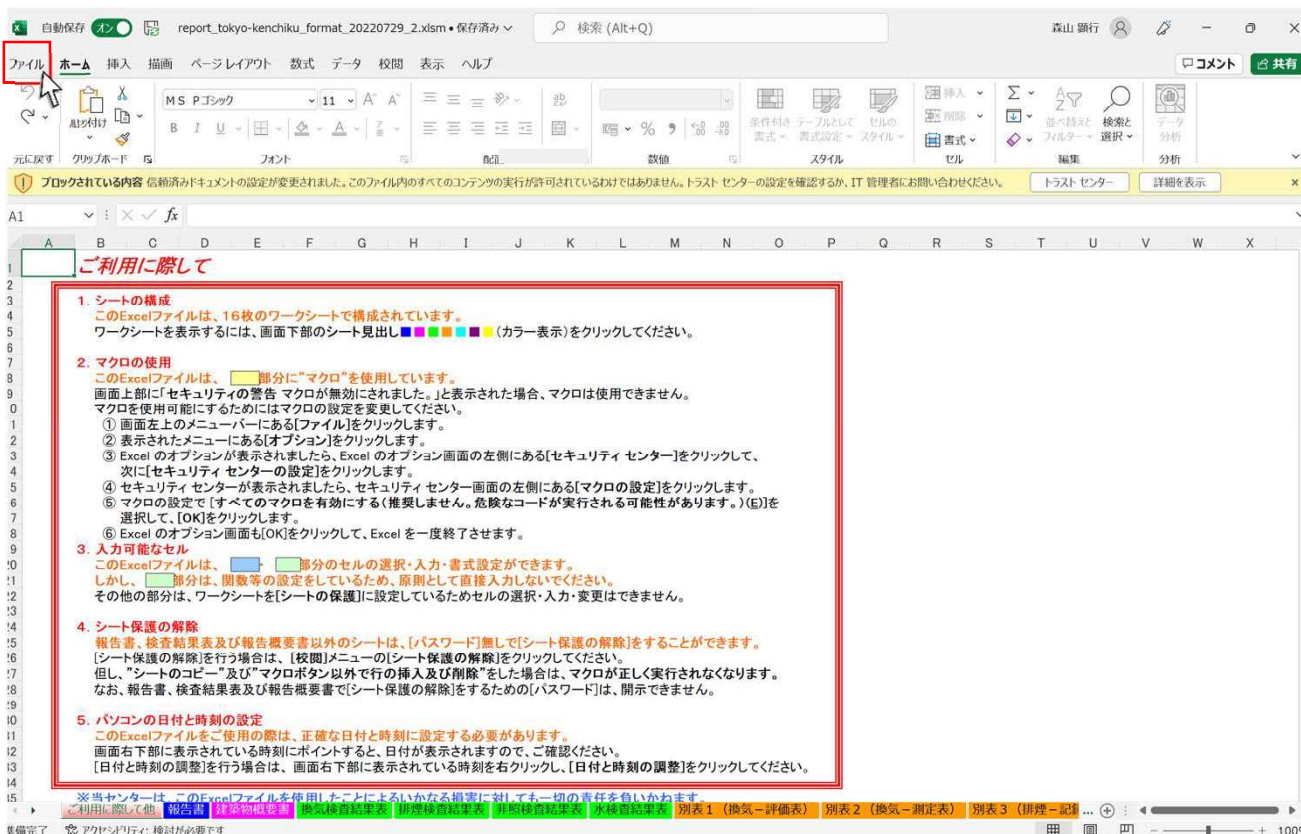
## ② 信頼できる場所として、特定のフォルダを指定し登録する方法

この方法は、特定のフォルダなどを「信頼できる場所」として指定することで、このフォルダ内に保存されたExcelファイルは、安全なファイルだと見なされマクロを有効化することができます。  
例ではデスクトップ（PC内のフォルダ）を「信頼する場所」として指定する場合の方法を示します。  
※ 社内サーバー内を「信頼する場所」として指定する場合の方法については、現在調査中です。

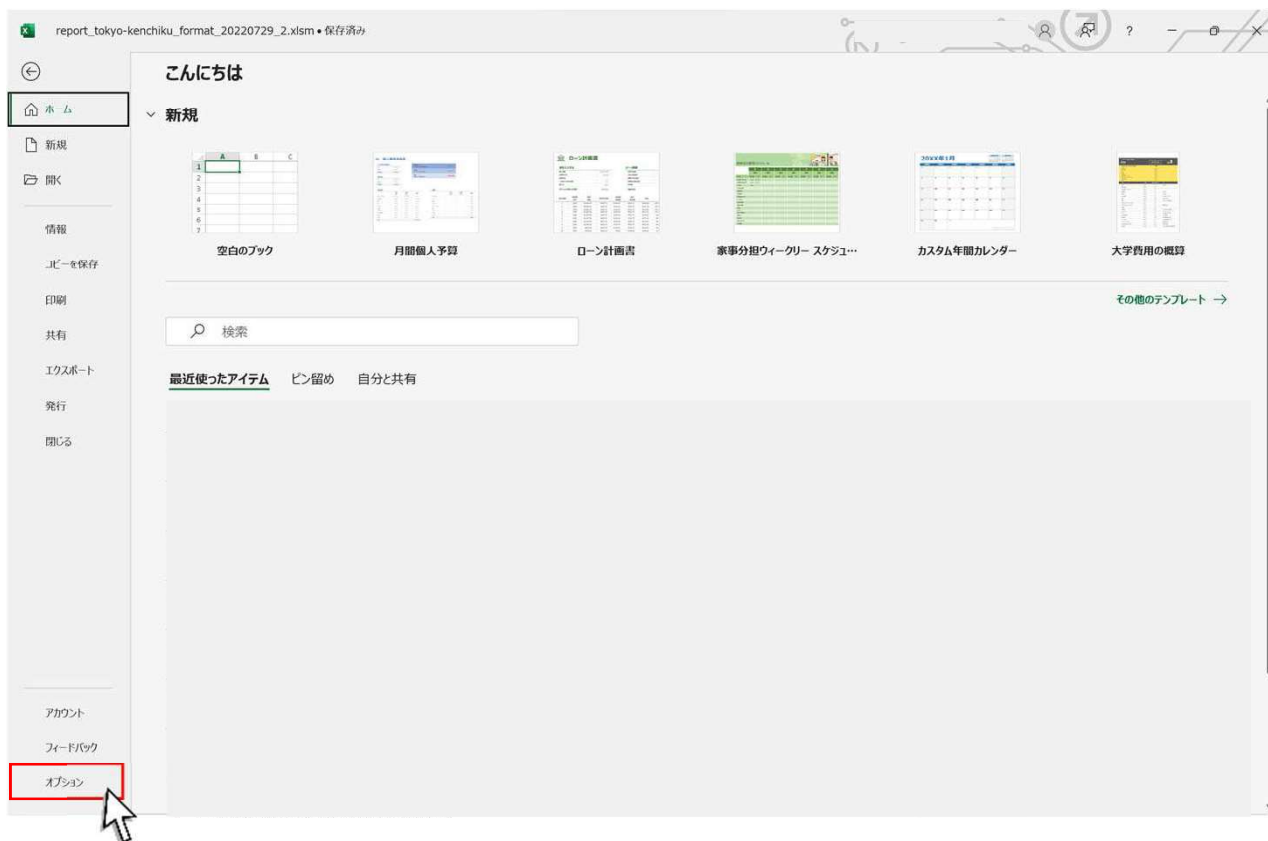
⇒【参考】Microsoftホームページ：[Office ファイルの信頼できる場所](#)



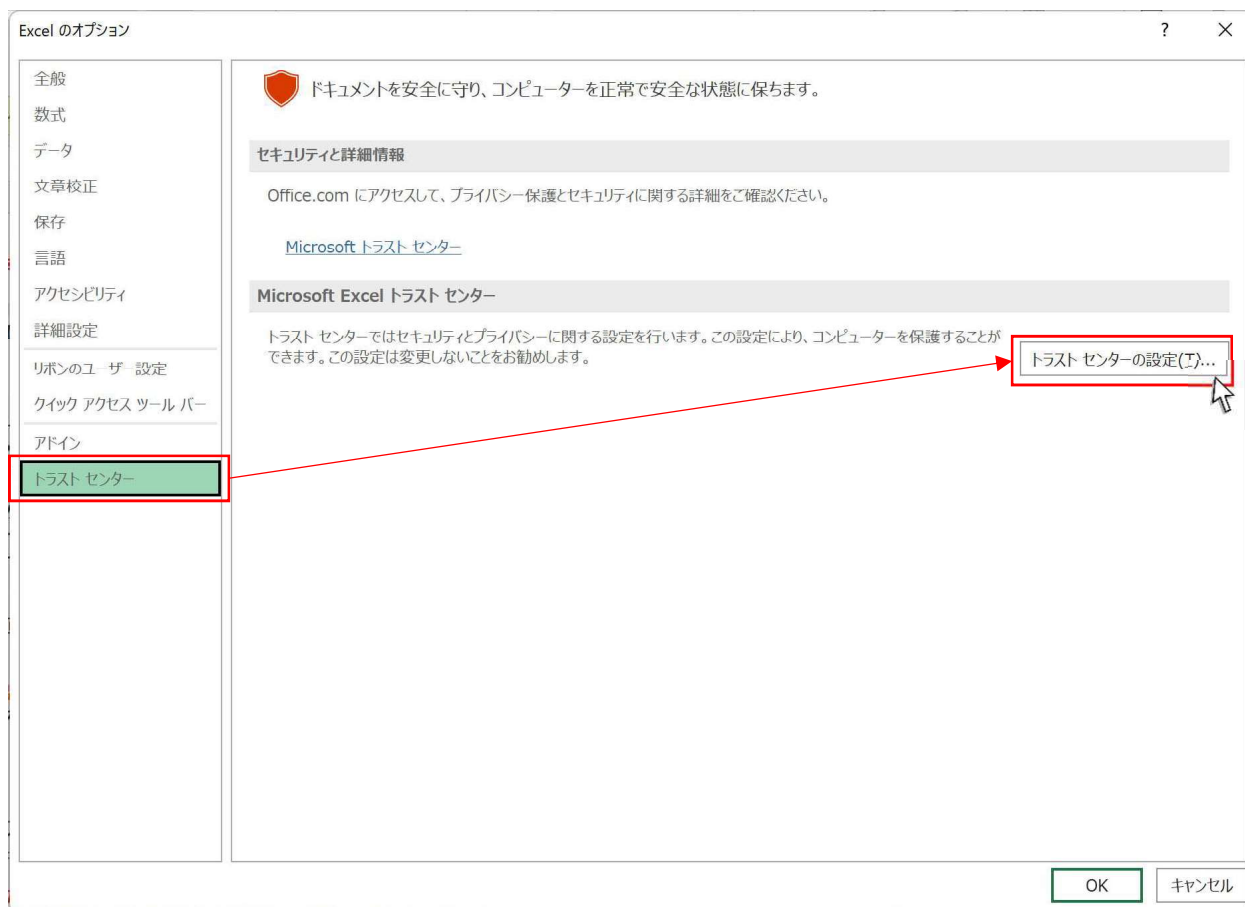
### ① Excelを開いた状態で「ファイル」を選択する。



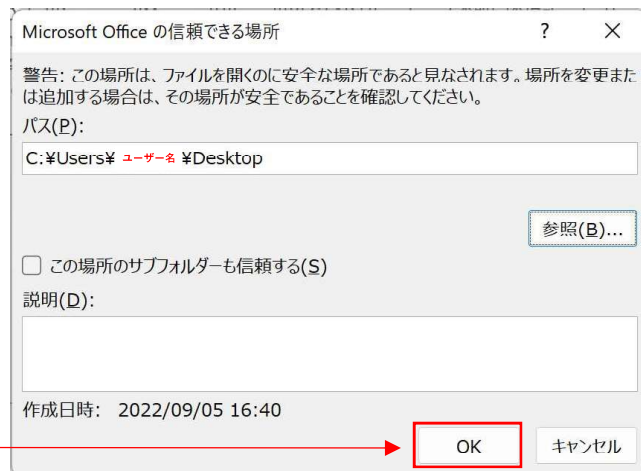
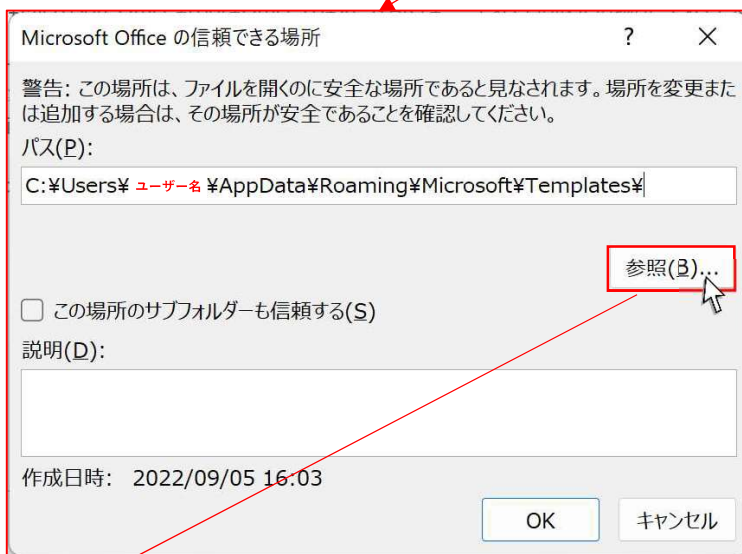
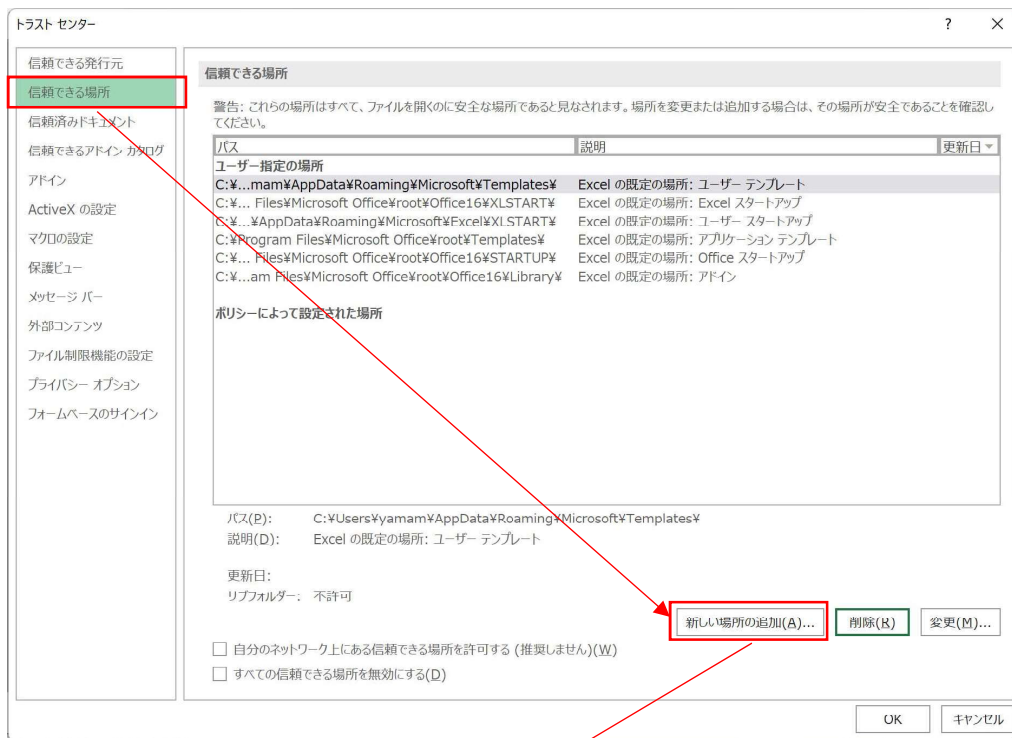
## ② 「オプション」を選択する



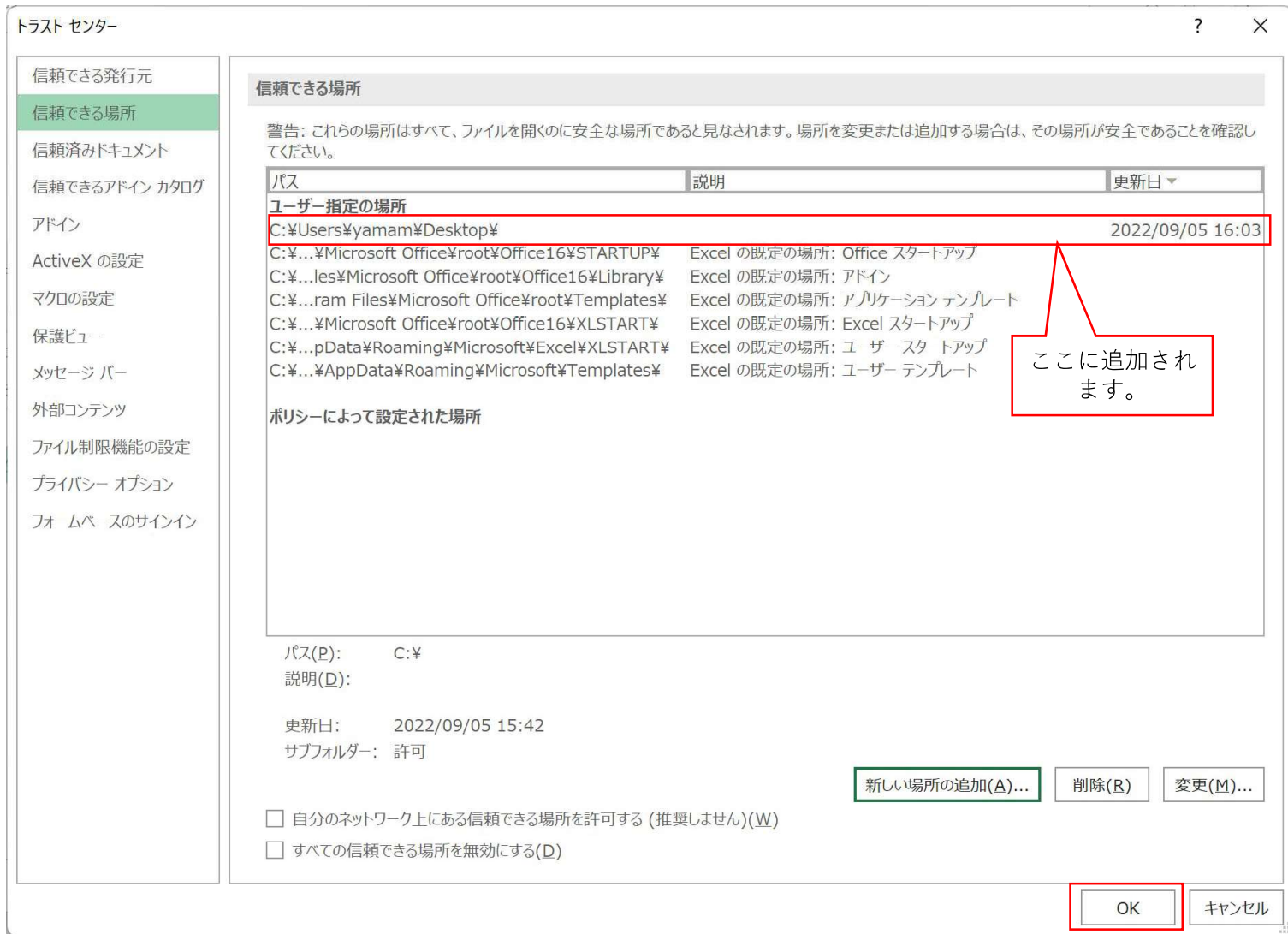
- ③ 左メニューから「トラストセンター」→「トラストセンターの設定」を選択します。  
※ Excelのバージョンによっては、「セキュリティセンター」と表記される場合があります。



- ④ 左メニューから「信頼できる場所」をクリックし「新しい場所の追加」を選択すると、「Microsoft officeの信頼できる場所」が表示されるので、「参照」を選択し、「信頼できる場所」として設定するフォルダのパスを選択します。

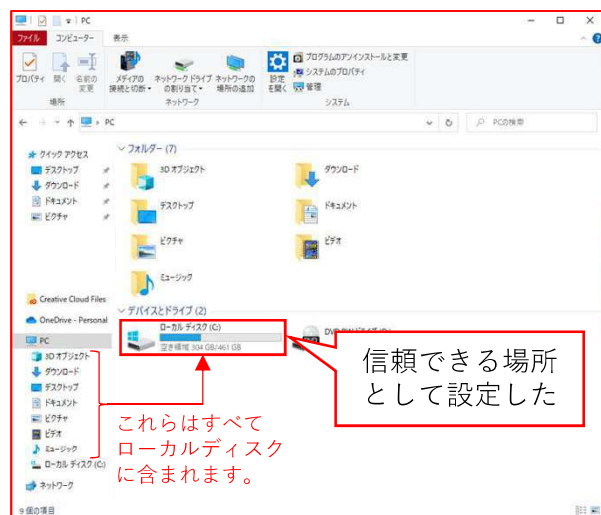
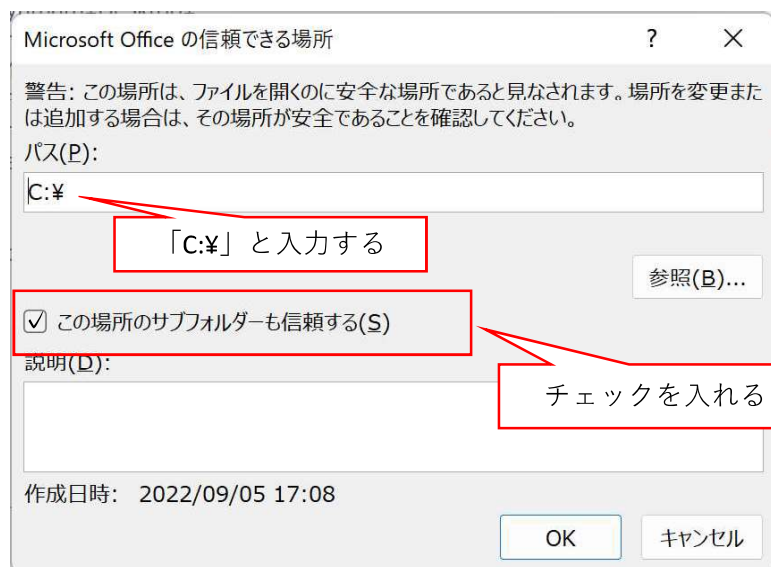


④ 「OK」を選択して、一度ファイルを閉じた後、デスクトップ上でExcelファイルを開き、マクロを有効化できることを確認してください。



これでデスクトップ上に置いたExcelファイルはすべて安全なファイルだと見なされマクロを有効化することができます。なお、「信頼できる場所（今回はデスクトップ）」として指定した以外の場所ではマクロを有効化することはできません。

なお、以下のようにパスを設定することで、PC内のフォルダすべてを「信頼できる場所」として設定できます。



なお、ご利用のパソコンによっては、ローカルディスクの領域が分かれている場合があります。

【ローカルディスクCを分割してローカルディスクDを作成しているなど】

その場合は、「D:\」と入力することで、ローカルディスクDについても信頼できる場所として登録できます。